

きいちゃんの いきいき支え合い通信

この通信では、地域の「顔が見える」関係の中で、日常生活の困りごとを助け合い、支え合う活動が進むことを願い、生活支援に関する県内の先進事例等を発信していきます。



第26号

令和8年6月
和歌山県
長寿社会課

支え合い事例紹介 「すさみTMS」 (T:たのしい・M:まちに・S:しょうら!)

すさみ町では、令和5年度から「たのしい まちに しょうら」を合言葉とする、第2層協議体「すさみTMS」を立ち上げ、令和6年度から、正式に有償ボランティアサービスを開始しています。今回は、行政、社協、すさみTMSメンバーが参加する定例会にお邪魔させていただき、TMSメンバーや生活支援コーディネーター（SC）の田中さんに、お話を伺いました。

●「すさみTMS」立ち上げの経緯は？

令和4年度に、町民を対象に、「支え合いフォーラム」を開催し、その参加者の中から、地域づくりに興味のあるメンバーが集い、勉強会を重ねてきました。その中で、町の現状や課題、地域の困りごとに対して、自分たちに出来ることを検討した結果、現在の形になったとのことです。また、徐々に参加者間の横の繋がりができていき、現在のメンバー数は、なんと80名になっています。

● 取組みの内容は？

ゴミ出し、網戸掃除、スマホの使い方、散歩の付き添い等、ちょっとした困りごとを解決できるようなメニューを、30分につき、300円のチケット制で実施しています。

なお、令和6年度8月から、町の長年の地域課題「病院での薬の待ち時間が長い！」を解決するため、追加メニュー「薬お届けします」を開始しています。

● やりがいは？

メンバーの成松さん(たのむ券命名者)に、「すさみTMS」の取組みについてのやりがいをお伺いしたところ、「一人暮らしの高齢者が増える中、すさみ町に住んでいて良かった、この地域で過ごせて良かった、と思っただけでなく、体を使っつけていきたい。」と熱い思いを語ってくださいました。



メンバーの成松さん

← 詳しくは次ページ参照

● 定例会について

今回の定例会では、まず「すさみTMS」の目的について確認をした後、先月の実績報告や、今後の取組方針について話し合いが行われました。話し合いでは、「メンバーの若い層を集め、SNS部会を作ってはどうか。」「大学生や、シルバー人材センターと連携を深めるため、交流会を開催してはどうか。」等、活発な議論がなされていました。

なぜ、このようにメンバーから次々と意見が出るのかをSCの田中さんに聞いたところ、『「みんなで楽しみながら活動する」ということを意識している。定例会（たまに飲み会も（笑））を重ねることで、メンバー間の繋がりがどんどん深まり、楽しみながら取り組んでもらっているのではないかとのことでした。

また、包括支援センターから、介護保険の新規認定を受けた方の自宅に訪問した際、その方から、「身の周りのことは、すさみTMSにお願いできるから、家に手摺さえてくれば良いよ。」と言われたエピソードが紹介され、TMSの活動が生活の支えになっていることを確認しました。



定例会の様子



すさみTMSの皆様

すさみTMSおたがいさま活動の概要

4月スタート! 「ちょっと手伝ってほしいなあ...」「ええよ~!」

支え合う地域をめざして!

すさみTMS が立ち上がりました。

たのしい まちに しょうら

「困ったなあ、おたがいはま!」 → 「ちょっと手伝ってくれる人はいっぱい!」

お手伝いをする人 ↔ 支え合いの関係 ↔ お手伝いしてもらう人

ゴミ出し 30分/300円 | 電球の交換 | お話し相手 | 庭の手入れ など

「ちょっとした「困ったな」をお気軽に相談ください。」

お問合せ・チケットの購入先・事務局
すさみ町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 田中(事務局) ☎55-4104

ご利用に関して

- ・30分300円です。
- ・支払いはチケット制です【1,500円(300円×5枚制)】
- ・チケットは事前に事務局(すさみ町社会福祉協議会)からご購入ください。
- ・詳しくは、事前に事務局までお問い合わせ・ご相談ください。

活動メニュー

- ①ゴミ出し、分別
- ②電球の交換
- ③散歩の付き添い
- ④庭の手入れ

その他、掃除・衣類の整理、スマホの使い方 など

すさみTMS おたがいさま活動の概要

お手伝いしてもらう人 → 事務局 → お手伝いをする人

- ①利用の依頼・相談
- ②利用の申し込み
- ③チケットの購入
- ④活動
- ⑤チケット(たのむ券)を渡す

事務局 ▶ すさみ町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター (55-4104)

募集 お電話お待ちしております

できるときに、できることを!

お手伝いをしてくれるTMSメンバーも募集しています。地域の中で支え合いの輪をつくるには、みなさんの力が必要です。一緒に住みやすい町づくりを目指していきます!

「薬お届けします」サービスについて

県内でも珍しい、お薬配達サービスが実施されているとことで、サービスの内容や開始に至った想いや経緯をお伺いしてきました。

● どのようなサービスなのか？

利用者からの依頼を受け、すさみTMSメンバーが、利用者の代わりに病院から薬を受け取り、自宅まで届けるサービス。
(利用の流れについては、以下を参照)

● このサービスを立ち上げた経緯は？

「病院での薬の待ち時間が長い」という課題を解決するため、まずは病院との話し合いを行った結果、高齢化により一包化を希望する患者様が増えたことが待ち時間延長の最大の理由だと分かりました。同時に、外来患者様へのアンケート調査では「待ち時間延長でデマンドタクシーの帰りの予約時間に間に合わない」という困り事が多いことが判明し、これらの状況と院外処方できる薬局が少ないといった地域の課題を解決策するため、TMSが薬を配達するサービスを開始したとことです。

利用者の受診に伴う身体的・精神的負担を「我が事」として捉え、TMSができることを考えた結果、「利用者は診察後すぐに帰ることができる」「病院は配達サービス利用者の調剤を後回しにできる」「他の患者様も待ち時間が短くなる」と多方面でのメリットにつながったとことです。



受診に来られた方にアンケート調査を実施中

薬お届けします

TMS薬お届け隊が配達!

県内約40箇所から病院の課題を解決するため、受診後にTMSスタッフが自宅に薬をお届けするサービスです。

ご利用のながれ

3日前までに電話で予約

予約 → 病院の受診・お会計 → 自宅に宅配

ご利用対象者 ※①～③すべてに当てはまる方

① 町内在住
② 高齢の方（家族等による支援が難しい方）
③ 公共交通機関をご利用の方（自家用車などご自身で病院に来れない方）

料金 1回300円

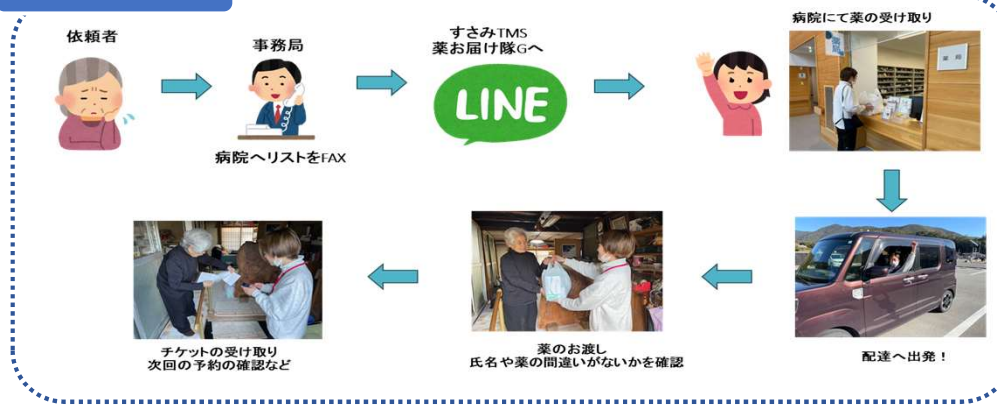
予約 TMS事務局 155-41041

TMS会員登録

※前にお知らせが必要です。まずは電話ください。TMS事務局 155-41041

すさみTMSは自分たちの問題を自分たちで解決したいという思いから生まれたサービスです。一緒に課題を解決しましょう。

利用の流れ



情報通信技術を活用した取組みについて

参考

さらに、総務省における、「過疎地域持続的発展支援事業」を活用し、令和7年度にAIやドローン等を活用した、実証実験を実施したとすることで、その内容についても、お伺いしました。

● どのような実証実験か？

ボランティアスタッフの負担軽減や広範囲な住民ニーズに対応するため、AIを活用することによる、住民とボランティアスタッフのマッチングの自動化や、ドローンを用いた薬等の輸送を行う実証実験。

● 実際にやってみて、どうでしたか？

依頼者やボランティアの情報を事前に入力しておくことで、AIが依頼者からの依頼内容等に応じ、最適なボランティア人材を自動で選定してくれることや、お薬等をドローンで依頼者近くの離発着上まで配達してくれることで、ボランティアが、車を使わずに、利用者宅まで配達できたので、負担が減ったとことです。しかし、高齢者がLINE機能を使いこなせないなどの課題も明確になったので、引き続きAI等の活用の可能性にチャレンジしていきたいとことです。

AI

➢ 依頼内容に応じ、最適なボランティア（支援者）を生成AIが自動でマッチング

LINEフォームで24時間365日受付
公式LINEで依頼
AIでマッチング
依頼者
支援者

LINE

➢ LINEアプリで依頼者とボランティア（支援者）とやり取りを実施

依頼者登録する
ボランティア登録する
事務所に電話
登録内容を見る

ドローン

➢ ドローンで依頼者の近くの離発着場所まで物資を配達。

※出典：ソフトバンクニュース「AIがつながるボランティアの輪。和歌山県のすさみ町で地域の助け合い活動を、AIによるボランティアマッチングとドローン物流で支援」

県からのお知らせ

- 県では「生活支援専門アドバイザー派遣事業」を実施しています。是非、積極的なご活用をお願いします。
- 皆様の取り組みを紹介させていただきます！ 県職員が取材に伺いますので下記までご連絡をお願いします。

連絡先：和歌山県長寿社会課 電話：073-441-2521